

女川原子力発電所2号機 第11回定期検査の状況

(平成23年3月分)

1. 定期検査の進捗状況

女川原子力発電所2号機は、平成22年11月6日より第11回定期検査を実施しており、平成23年3月11日14時00分に原子炉を起動しました。

その後、原子炉起動操作中において、地震の発生に伴い、同日14時46分、設計どおり原子炉が自動停止しました。

(平成23年3月11日お知らせ済み)

現在、原子炉の温度は100℃未満の冷温停止状態にあり、安全に停止しております。

地震による設備への影響について、調査・確認を行い、結果を当社ホームページ（東北地方太平洋沖地震に関する情報）にて、別途、お知らせしております。

(添付－1 女川原子力発電所2号機 第11回定期検査 主要点検工程表 参照)

2. 主要機器の点検状況

主な機器の点検状況は以下のとおりです。

(1) 復水器細管の点検

3月7日、タービンで使用した蒸気を海水で冷やすための復水器において、復水器細管を流れる海水が復水器内に微量に漏れ込んでいる可能性があることを確認したことから、点検・調査を行いました。

調査の結果、細管に海水が流れないように閉止している栓[※]が外れている個所があり、この細管から海水が漏れ込んだことを確認したことから、当該細管に再度閉止栓を取り付け、海水の漏れ込みがないことを確認しました。

海水が復水器内に微量に漏れ込んだ原因は、肉厚が薄くなっていた当該細管の外面から徐々に浸食が進行して微細な穴が開き、そこに閉止栓が外れたことで細管内に海水が流れ込んだことによるものと推定しております。

(平成23年3月10日、3月11日お知らせ済み)

※ 減肉が確認された復水器細管については、細管の減肉が進んで穴が開いた場合でも復水器内に海水が漏れ込まないように、予防保全の観点から閉止している。

3. トラブルに該当しないひび、傷等の状況について

トラブルに該当しない「ひび」、「傷」等の軽度な事象はありませんでした。

以 上

